

# 本事業の目的及び内容について

# 医療の質向上のための体制整備事業

## ＜事業目的（案）＞

- 現場の自主的な質改善活動を充実させる。
- 医療の質を可視化し信頼性を向上させる。

本会において事業目的・目標を共有し再設定を行いたい。

# 事業運営体制（案）

医療の質の評価・公表等推進事業  
参加病院団体及び参加病院など

臨床指標を活用した質改善活動に  
意欲ある医療関連施設など

仮称：医療の質向上のためのコンソーシアム（QIコンソーシアム）

医療の質向上のための活動の“場”

医療の質向上のための協議会

（事業実施機関：公益財団法人日本医療機能評価機構）

各種施策の企画・検討、実施及び「医療の質向上のためのコンソーシアム」の運営

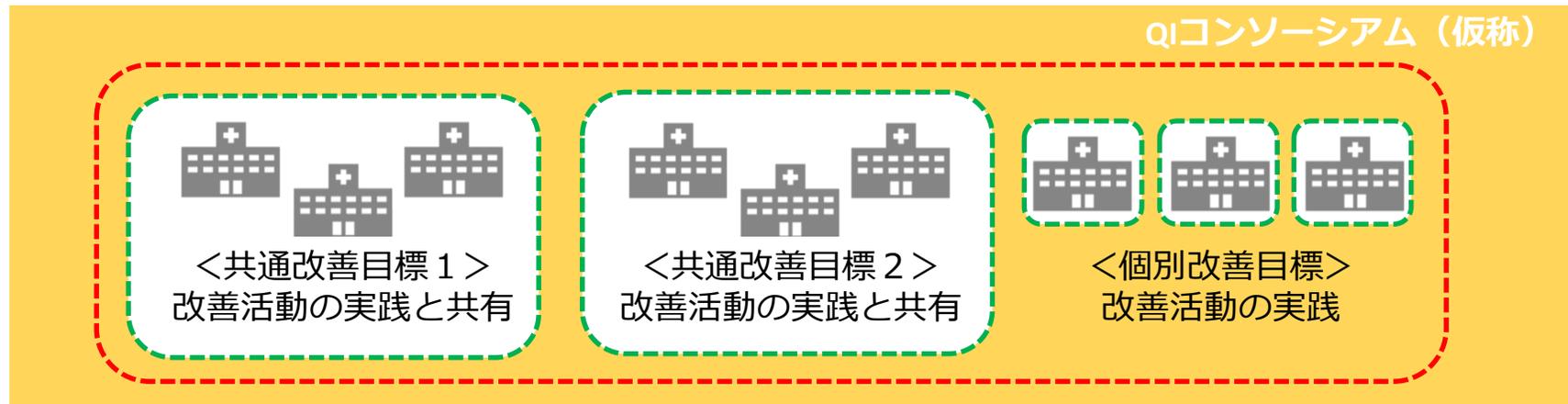
厚生労働省医政局

（「医療の質向上のための体制整備事業」事業管理者）

# 事業目的と実施プロジェクト（案）

## 事業目的（案）

- ①現場の自主的な質改善活動を充実させる。→ “QI活用プロジェクト”
- ②医療の質を可視化し信頼性を向上させる。→ “QI標準化プロジェクト”



### QI活用プロジェクト

- 取組の共有・普及（好事例の共有、手引きの作成）
- 人材育成
- 臨床指標の評価・分析支援

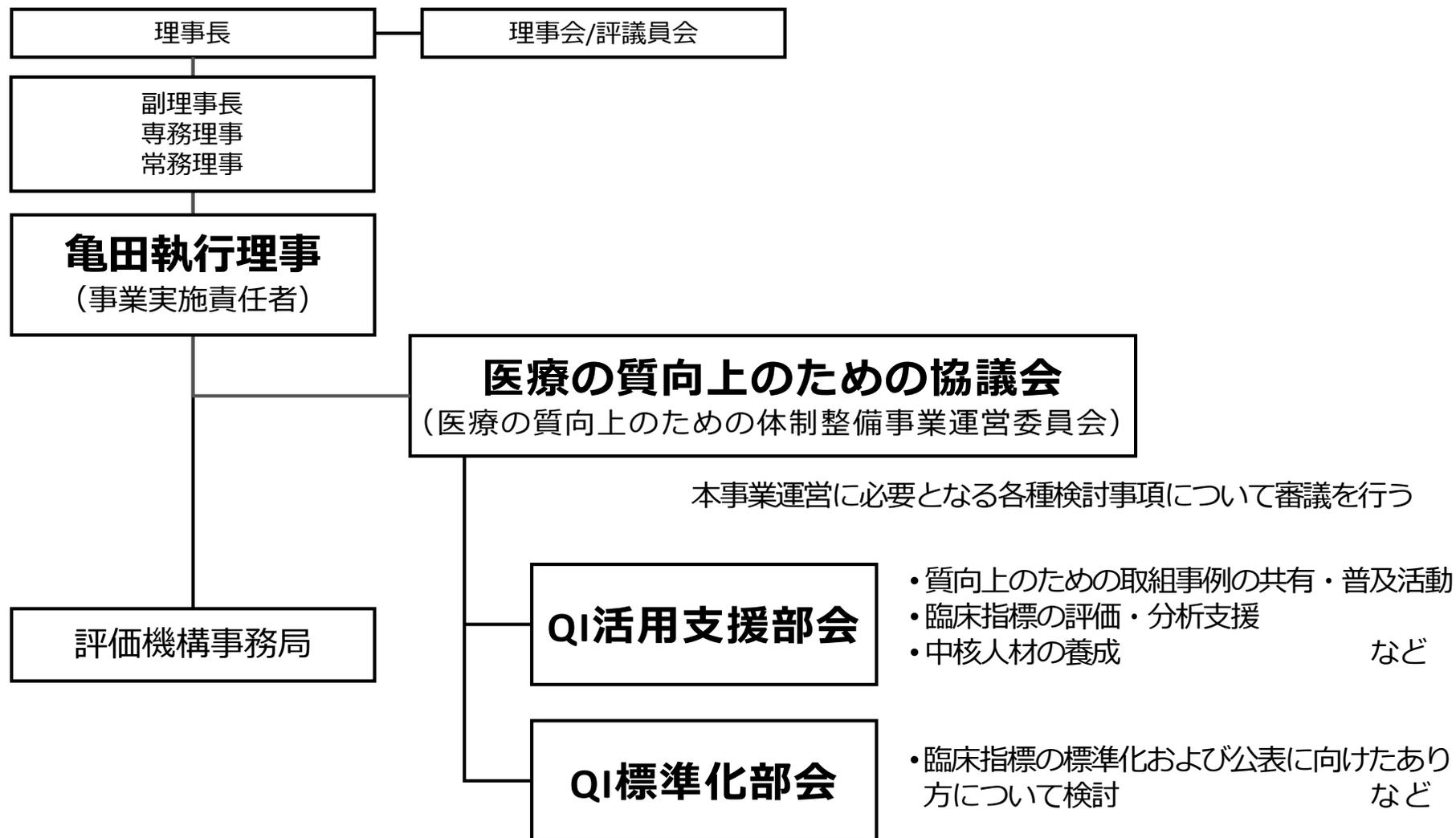
### QI標準化プロジェクト

- 臨床指標の標準化
- 公表のあり方の検討

医療の質向上のための協議会

 活用プロジェクトにて対応  標準化プロジェクトにて対応

# 運営事務局体制 (日本医療機能評価機構)



# 部会における検討事項及び想定成果物

## 医療の質向上における臨床指標のあり方の共有（合同部会）

臨床指標の特性や質改善活動における臨床指標の捉え方・活用の仕方について認識を共有する。

### QI活用支援部会

臨床指標を活用した改善活動の共有・支援の方法論の検討

コンピテンシー及びカリキュラム等の検討

QI活用プロジェクトの試行案作成

QI活用プロジェクトの試行

試行結果の評価・修正、実稼働

参加施設の増加

臨床指標を活用した質マネジメントシステムの検討

### QI標準化部会

共通指標策定に向けた方法論の検討

共通指標の  
検討, 設定, 評価

各団体等が定義する  
指標の収集, 一覧化

指標の公開

臨床指標DWHの構築, データ収集・分析

結果の公表・情報還元

各種DB(NDB, NCD等)  
との連携

病院機能評価/Minds  
との連携

※点線枠は、中長期的な取組

# 下期スケジュール (案)

2019年8月15日版

2019年				2020年		
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

協議会

▲  
9/25

▲  
2/xx

標準化  
部会

標準化・活用支援  
合同部会

①方法論の検討, 策定

標準化指標策定における考え方を方法論として策定

項立/記載レベルの検討

分担作成/取り纏め

標準化  
方法論

②標準化指標の検討, 策定, 検証

基本指標および急性期指標の検討及びパイロット検証

指標の検討 (基本, 急性期)

検証/修正

標準化  
指標

③人材育成カリキュラムの検討, 策定

質改善活動に資するための育成カリキュラムの検討, 策定

コンセプトの検討

カリキュラムの策定

人材育成  
カリキュラム

④人材育成コンテンツの開発

「データの利活用」をテーマとしたコンテンツの開発

コンセプトの検討

コンテンツの開発 (教材, 動画)

人材育成講座  
コンテンツ

⑤医療の質向上のためのコンソーシアムプログラム企画検討

(趣旨説明, 部会活動報告, 基調講演, 事例紹介, キャンペーン実施キックオフ宣言 など)

HP  
開設  
(公開)

医療の質向上のためのコンソーシアム

# 本会議でご議論いただきたい内容

1. 実施要綱に示された事項を検討するにあたり、他に留意すべき課題はないか。
2. 本事業の目的を「現場の自主的な質改善活動を充実させる」「医療の質を可視化し信頼性を向上させる」と設定することによいか。
3. 本事業は、「QI活用プロジェクト」「QI標準化プロジェクト」の2つを始動させることによいか。
4. 検討にあたり、本会の下部組織として上記プロジェクトに対応した部会を設置することによいか。